

目 次

野畑健太郎教授退職記念号

野畑健太郎先生に捧ぐ	鈴木 孝之	1
野畑健太郎 教授 略歴および主要著作目録		5

論 説

独占禁止法実体規定における行為要件の役割	鈴木 孝之	11
大規模不法行為の倒産手続による解決	榎 博行	39
情況証拠による事実認定の適正化のために —不確実な間接事実の証拠排除と適切な経験則の利用—	角田 雄彦	73
憲法学の立場から考える「臨床」	岡田 順太	107
普天間基地移設問題における法治主義解釈の実践 —当該法律関係および一般法・特別法関係の見極め、そして代執行手続きにお ける「公益」の内容と判断権者—	比山 節男	127

判例研究

相続放棄申述の熟慮期間の起算日について判断した事例 東京高等裁判所平成26年3月27日第11民事部決定（平成25年（ラ）第1685号 相続放棄申述却下審判に対する抗告事件）判例時報2229号21頁、戸籍時報723号 42頁。原審判取消し・申述受理（原審・長野家裁平成25年7月16日審判（平成 25年（家）第4161号ほか））。	河野 泰義	167
---	-------	-----